

令和4年度 第2回米沢市行政経営市民会議 会議録

【日時及び場所】

日時 令和5年3月17日（金）午後3時00分～午後3時30分
場所 庁議室

【出席者】

市民委員 相田正史委員、荒海遥委員、有海利至委員、岩崎令子委員、大竹茂委員、加藤英樹委員長、田中明子委員、中川恵委員、兵庫浩子委員
（石川栄樹委員、佐藤幸治委員、須貝容子委員、杉本俊之委員、長谷川大輔委員は欠席）

本部委員 副市長、総務部長、企画調整部長、市民環境部長、健康福祉部長、産業部長、建設部長、会計管理者、上下水道部長、教育管理部長、教育指導部長、議会事務局、選挙管理委員会事務局長、
（市立病院事務局長、監査委員事務局長、農業委員会事務局長は欠席）

事務局 総務課長、財政課長、教育総務課長、政策企画課長、政策企画課長補佐、政策企画課経営政策主査、政策企画課主事

【次第】

- 1 開会
- 2 副市長あいさつ
- 3 委員長あいさつ
- 4 議事
（1）第2期米沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について
（2）米沢市公共施設等総合管理計画のフォローアップについて
（3）今後の財政見通しと推計方法について
- 5 その他
- 6 閉会

【議事要旨】

2 副市長あいさつ

副市長 昨日、中学校の卒業式がございました。マスクなしで弾けるような子供たちの笑顔と終わってからの涙を見て心が洗われました。明日は、小学校の卒業式に参加します。またマスクのない子供たちの笑顔を見ることが出来ると思い、楽しみにしています。私たちがしている仕事は何だろうと思ったときに、あの子供たちの笑顔をずっと笑顔のままでいさせることだと思い、を新たにしたところでございます。何年たっても子供たちが笑顔でいられる社会を全力で作っていかねばと思っています。そのためには、皆さまからの忌憚のない御意見が何より大切になってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

3 委員長あいさつ

委員長 お忙しいところ各委員、御出席いただきまして誠にありがとうございます。昨日、東京に行きましたら電車などでもほとんどの方がマスクをしていました。新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着くのには、もう少し時間がかかるのかなと感じています。商工会議所といたしましても、少しずつ経済を動かしていきたいというところがありまして、早く前の状態に戻ることを期待しております。本日は、本年度第2回目の米沢市行政経営市民会議です。進行状況の説明等が中心になるかと思いますが、審議をよろしく願いいたします。

4 議 事

(1) 第2期米沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について (資料1に沿って事務局より説明)

委員長	従来の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略は、この会議でも進捗状況について意見を申し上げていたところであります。今度は、デジタル田園都市国家構想総合戦略に基づく新しい米沢市としての総合戦略の組み立てということで、新年度からのスタートとなりますが、委員の皆様の忌憚のない御意見をつぎ込める場所でもありますので、それぞれのお立場での御意見を頂戴したいと思います。改訂のスケジュールも示されていますが、このあたりを御覧になって御質問や御意見がありましたらお願いいたします。
委員	5年間の計画策定期間ということですが、パブリックコメントの期間が5年間の割には若干短いと感じます。もちろんスピード感も必要かと思いますが、市民の皆さんの様々な角度からの御意見を頂戴するには、もう少し期間があってもよいのではないかと思います。来年度1年間で骨子を決めるということだとは思いますが、いかがでしょうか。
事務局	パブリックコメントにつきましては、本市の進め方として20日以上の間をおくということを定めていますので、今回のデジタル田園都市構造総合戦略を策定した際にも、20日以上の間を設けながら御意見を頂戴したいと思っています。広報よねざわやホームページなどに情報はすぐに発信をしまして、たくさんの御意見が集まるような手立てを考えたいと思っています。
委員	5か年にわたっての計画期間ということで、我々の感覚としては即実践に移すのは難しいのではないかと感じており、予算化や国とのパイプもスムーズにいくのかなど不透明なところもあるかと思いますが、ある程度のスピード感を持ってお願いしたいと思っています。

(2) 米沢市公共施設等総合管理計画のフォローアップについて

(資料2に沿って事務局より説明)

委員長	今回からの後任の委員には少し分かりにくいところもあるのではと思いますが、公共施設の面積の削減や維持コストの削減などの目標があります。ナセBAや市役所が出来たりということで、なかなか公共施設の面積増加が見通せなくなっています。委員からこれについて御質問等はございますでしょうか。
委員	数のうえでは増えたように見えますが、目標の8割まで今後の見込みでは順調に推移していくという理解でよろしいでしょうか。
事務局	建替え等の施設整備の時期に差しかかっておりまして、施設整備をした年度で同時に解体も行えばプラスマイナスゼロということになるかと思いますが、今回につきましては解体が翌年度以降となっていますので、若干増えたところもございます。参考として載せた令和4年度については減少となっていますので、将来的には減少になると考えています。

(3) 今後の財政見通しと推計方法について

(資料3に沿って事務局より説明)

委員	人件費のところで退職手当や職員の定年の延長という話がございまして、職員の給与のところはほぼ横ばいの数字となっていますが、職員数は全体的に以前から比べると減っているのでしょうか。またデジタル化が進んでおりますが、今まで人の手で行っていた部分をデジタルに移行することで職員数の減少なども検討しているのか教えていただければと思います。
事務局	令和5年度から2年ごとに1歳ずつ定年年齢が引き上がり、令和13年度に65歳で定年引上げが完成します。これまでは退職者と同じ人数を採用するという考えで採用試験をしてきましたが、2年に1回しか定年退職者が出ないために、それでは職員の年齢構成にばらつきが出ますので、採用試験は毎年実施したいと考えております。ですので、職員数は増加傾向になるのではないかと見込んでいます。デジタル化については、今後どのような業務でどのようなデジタル化がなされるかという見通しが立てにくい状況でありますので、現時点でデジタル化に伴う職員の減少については想定できるものはございません。いずれデジタル化が進んでくれば、職員数についても減少していく可能性はあると思われます。ただ、最近の流れとして財政健全化期間は職員数が減少傾向にありましたが、住民ニーズの変化や業務が増大しているということもあり、ここ最近では職員数が増えている傾向にあるということを申し添えます。

委員長

いつでも事務局に連絡等をしていただければ、御質問も受けていただけるのではないかと思いますので、何かあったら随時御質問をあげていただければと思います。

5 その他

事務局

事務局よりご報告いたします。委員長でございますが、昨年11月に米沢商工会議所の会頭に選任され、会頭としての公用も多忙となることから、本年度末で米沢市行政経営市民会議の委員を御退任することとなりました。委員長には、本会議の前身である「米沢市行財政改革推進市民委員会」委員を平成17年から務めていただき、翌年の平成18年からは委員長として以降9年、また「米沢市行政経営市民会議」発足の平成27年からは委員長として現在までの7年、全体として合計17年にわたってお務めいただきまして、本市の行政運営に関し、御意見をいただきました。今後とも、本市行政運営にお力添えをいただければ幸いです。以上、報告となります。

事務局

委員長から一言ご挨拶いただければと思います。

委員長

17年というのは「馬齢を重ねる」という言葉がありますが、長く務めさせていただきました。当初は、行財政改革というテーマがありました。情勢の変化というのは常にありますが、様々な状況を見させていただき、行政の進め方を大変勉強させていただいたと思っています。

委員長の選任はこの会議での互選ということになると思いますが、後任は弁護士の神原祐哉先生の御推薦を申し上げているところです。神原先生がまずは委員としてお入りいただくとことになるとと思いますので、よろしく願いいたします。

大変長らく委員長をさせていただきました。ありがとうございました。

事務局

委員長ありがとうございました。ここで、事務局より1点ご提案がございます。

事務局

委員長の御挨拶のなかで、後任の委員として弁護士の神原祐哉様の御推薦をいただいたところでございます。神原様につきましては、本市が行っている無料法律相談をはじめ、米沢市国際交流協会の理事をお務めいただくなど、本市のまちづくりに多方面からご尽力をいただいております。新年度の第1回会議から御出席をいただく形になりますが、事務局としましては、後任の委員長につきましては、神原様にお願いしたいと考えております。米沢市行政経営市民会議条例では、委員の互選によって委員長、副委員長を選出するとありますが、改めて新年度の第1回会議で事務局から御提案を申し上げまして、お諮りをさせていただきたいと思っております。

で、どうぞよろしくお願いいたします。

6 閉 会

※ 本委員会に関しては公開、会議録については要点筆記で委員の名前は記さないことになっております。